

目標達成計画

作成日: 平成 23年 2月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域の方と直接触れ合う機会がまだ不十分 (特定の場所や人々となってしまう点)	地域の一員として交流を更に深める。	後方などを参考にし、できる物から積極的に参加していく。外出の機会を多くする。閉じこもらない。不安な点は相談していく。	6ヶ月
2	1	職員一人ひとりの理解が不十分 (地域密着型、具体的理念)	共通の理解で活動	年度始めにケア会議等で職員全員参加で話し合いの場を持つ。	6ヶ月
3	4	家族の参加者が少なくマンネリ化	魅力ある会議にし、ご家族の参加率をあげる。	家族にもわかり易い認知症の勉強会を開催し、理解を深めてもらう。 職員も同じメンバーに偏らず参加し、研修報告など行うことで新鮮な情報を提供する。	6ヶ月
4	33	終末ケアの対応(経験)が少ない	方向性の共有	早い段階から本人、家族の意向を伺い、職員全員で方針に取り組む。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。